

令和5年度第1回門真市総合教育会議議事録

日 時：令和5年4月21日（金）午後2時30分から午後2時45分まで

場 所：門真市役所本館4階 委員会室

出席者：宮本市長、久木元教育長、土川教育長職務代理者、高橋委員、松宮委員、澤田委員

関係者：下治副市長、古澤副市長、八木下副教育長、鈴木教育部長、大倉教育部次長、峯松教育部総括参事、高岡教育総務課長、渡辺教育企画課長、高山学校教育課長、植原学校教育課参事兼教育センター長、向井学校教育課参事、笹井保育幼稚園課長

事務局：大矢企画財政部長、北井企画財政部次長、船木企画課長、松本企画課長補佐

（事務局）

それでは、会議を開催させていただきます。

本日は、ご多忙の中、令和5年度第1回「門真市総合教育会議」にご出席いただき、ありがとうございます。

本日司会を務めます、企画財政部企画課長の船木でございます。よろしくお願ひいたします。

本日は、配布資料の確認が終了しましたら、主宰者である宮本市長による議事進行を考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

なお、総合教育会議は、法律により原則公開することとなっており、本日は公開で開催いたしますので、ご了承のほどよろしくお願ひいたします。

それでは、議題に入ります前に本日配布の資料の確認をさせていただきます。

- ・次第
- ・【資料1】学校給食費の無償化について
- ・（参考資料1）門真市総合教育会議会則
- ・（参考資料2）地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋
- ・（参考資料3）門真市総合教育会議の会議公開要領

以上でございます。

お手元に全て揃っておりますでしょうか。

揃っているようですので、これより議事の進行を宮本市長にお願いしたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

(宮本市長)

それでは、ここからは、私の方で進めてまいりますので、よろしくお願
いします。

案件1、「地方創生臨時交付金を活用した学校給食費の保護者負担軽減
について」であります。

これまで、議会等で議論を進めてきましたが、学校給食費の無償化につ
きましては、子育て世代に対する負担軽減策の一つとして有効なものと考え
ておきまして、これまで議会でもそのように答弁してきました。

前回の総合教育会議でも申し上げましたが、無償化は実施してまいりた
い。ただ、実施時期については、無償化の実施には恒久的な財源確保が必
要だと考えておきまして、効果的な実施方法や実施時期をこれまで検討して
きたところです。

他市では、同じように臨時交付金を活用して無償化を実施されたところ
もありますが、「無償化したが、財源が難しいためやめます。」ということ
にはできないので、しっかり見定めて決めていきたいと考えてきたところ
です。

前回の総合教育会議におきまして、小学校と中学校で実施時期を分けて
の無償化は事務が煩雑になるということや、公会計化システム導入のスケ
ジュール感などのお話を聞かせていただいたところです。

また、生活保護等で実質的に無償化になっている子どもを除いて、無償
化の対象とするため、条例化して、議会の合意形成のもと進めていくべき
との考えについても申し上げさせていただきました。

学校給食の無償化の実施時期については、今年の夏の総合教育会議にお
いて、財政状況をみたくうえで一定の道筋をつけていくとしておりましたが、
令和5年度の予算措置においては、昨今の急激な物価高騰に伴う給食費の
値上げ分につきましては、子育て世代に対する負担軽減策として、財源措
置をいたしました。

このような状況のなか、令和5年3月29日に内閣府より「電力・ガス・
食料品等価格高騰重点支援地方交付金の増額・強化」が示されまして、交
付金の推奨事業メニューとして学校給食費の支援が示されております。

これを受けまして、公会計化等の課題はありますものの、令和5年度に
つきましては、この交付金を活用して、低所得者以外の方、現役世代・子
育て世代の方への物価高騰対策として、学校給食の無償化を実施したいと
考えております。

実施時期については、今からですと二学期からになると思いますが、現
在の学校給食費の状況と、ご意見等をお聞かせ願えればと思います。

また、令和6年度以降についてですが、現在、国のほうでも、異次元の少子化対策に関する議論がされており、学校給食の無償化も話題にあがっております。3月末には与党の幹事長からの発言があり、学校給食費の無償化が、異次元の少子化対策の一つのメニューとして考えられているような報道もされているところでして、6月に示される予定の「経済財政運営と改革の基本方針」、いわゆる「骨太の方針」等の、国の動向を注視しながら、引き続き「財源確保の目途」と「公会計化」「条例化」等を検討し、夏の総合教育会議の議論のなかで、学校給食の無償化の時期について、目途をつけたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(久木元教育長)

高岡教育総務課長から、学校給食費の状況について説明いたします。

(高岡教育総務課長)

現在の給食費につきましては、先ほど市長からも説明がありました通り、令和5年度の給食費につきましては、急激な物価高騰に伴う値上げ分を市でまかなうこととしており、保護者負担の軽減に努めております。

このため、資料(中段)にあります通り、令和5年度よりそれぞれ、小学校1・2年生で月額550円増の4,700円、3～6年生で同じく550円増の4,800円、中学校では650円増の5,500円となりましたが、保護者の皆様の負担は値上げ前の給食費に据え置きとなっております。

今般、仮に令和5年度2学期から給食費を全額無償化とした場合の、保護者の皆様に係る負担軽減となる額は、資料(下段)にあります通り、就学援助、生活保護等を差し引いた約1億6,000万円になると想定しております。

(宮本市長)

ありがとうございました。

教育長または教育委員のみなさまから何かご意見ございましたらお願いいたします。

(土川教育長職務代理者)

代表して私の方から意見させていただきます。

今回、国の方から交付金の推奨事業メニューとして学校給食費の支援が示されたことを受けて、年度途中の二学期からでも、給食費の無償化の実施を図っていきたいとのことで、これは保護者の負担軽減につながるもの

と考えますので、ぜひ前向きに進めていただきたいと思います。

(宮本市長)

はい。

他にございませんか。

(久木元教育長)

さきほど市長のお話にもありました、令和6年度以降の学校給食無償化の見通しですが、「継続できる財源」や、「公会計化導入の時期」等の課題があると認識しております。つきましては、財源の確保等の見通しの時期について、どのようにお考えでしょうか。

(宮本市長)

見通しにつきましては、昨年度の決算が、今年の7月に見込みが出ますので、ある程度その状況をふまえることができると考えております。

8月の総合教育会議のなかで、道筋はつけていきたいと考えています。

この流れに関しては、一定これまでも議論させていただいてきたので、ある程度の環境は整いつつあるのかなと考えています。

ただ、先ほど申しましたように、国の臨時交付金であるということと、臨時交付金の他メニューにおいて非課税世帯の方への支援もあり、高齢者の方については非課税の方が多くありますから、現役世代の方への支援が無いというお話も聞いております。

そういった意味では現役世代の方への支援として学校給食費の無償化というのは適切かと思っています。

8月に向けて、最終的には来年の予算措置に向けては、見通しをつけていきたいと考えています。

ほかに、教育長または教育委員のみなさまから何かございませんでしょうか。

(松宮委員)

予算措置について、見通しをたてるということで嬉しく思います。

これを機に、本市における学校給食無償化に伴って、食育という切り口・観点で、児童・生徒にしっかりと食育を考えるということ。

ちょうど6月は食育月間というふうに記憶しておりますので、そういう機会としても捉えていただき、各学校へご指導お願いできればと思っています。

(宮本市長)

はい。ご意見ありがとうございます。

是非、教育委員会の方でもご対応いただければと思います。

他にございますか。よろしいでしょうか。

私としては、物価高騰対策として令和5年度の2学期から学校給食の無償化をこの機会に実施したいと思っています。

ここでいただきましたご意見等も参考にしながら、まずは今年度分ということですが、来年度も含めて経過を作っていければと思っていますので、よろしく願いいたします。

(久木元教育長)

補正予算にむけて、内部手続き等を進めて参りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(宮本市長)

はい。よろしく願いいたします。

それでは、次の案件へと移りたいと思います。

案件2「その他」ということですが、その他ご意見や提案事項がございましたら、お願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、最後に事務局より何かありますか。

(事務局)

今後のスケジュールでございますが、特段の案件がある場合を除いて、8月と2月に開催を予定しておりますのでよろしく願いいたします。

以上です。

(宮本市長)

それでは、貴重なお時間をいただき、誠にありがとうございました。

これをもちまして本日の会議を終了とさせていただきます。

お疲れ様でした。